

令和元年度

3号 トトモニ

しおじり協働通信
令和元年度

ご自由にお持ちください



特集 「あの人とともに」
フォルスピ
スポーツクラブ
子どもが成長するサッカー
想いを行動に変える
地域プロデューサー養成講座のご報告



TAKE
モノ

3号

しおじり協働通信トトモニ 令和元年度 第3号

TAKE
FREE

地域プロデューサー養成講座のご報告

「なにか始めてみたいけど、どうしたらよいか分からない」、「地域活動をやってはいるけど、どのように進めたらよいか困っている」という方を対象にした、全5回の講座を開催いたしました。4回以上参加した5名に講座修了証をお渡しました。



1st UP 地域で活動していくには

堀内 泉さん (NPO法人えんのわ)

自分だけではなく、多くの人が幸せを感じられ、笑顔になり、楽しくわくわくする活動を続けることが大切です。

2nd UP 仲間を集め、一緒に活動していくためのコツ

呉 哲煥さん (CRファクトリー)

非営利組織ならではの運営の難しさがあることを確認したうえで、新しい仲間を増やし、強くあたたかい組織をつくるように心掛けましょう。

3rd UP 活動を広げていくためのコツ

大塚 佳織さん (NPO法人えんのわ)

広報は、誰のために、何を伝えたいのかが大切。さまざまな資金がある中で、その団体の活動目的にあった資金調達の方法を選んでいきましょう。

4th UP 事業実践のマーケティング入門

長浜 洋二さん (モジョコンサルティング)

何を目指すのか、成果はなにか、働きかける相手は誰か、そして、その人にどう伝えるのかを改めて考える時間を持つことが大切です。

5th UP 想いを実現するための企画づくり

山田 勇さん (NPO法人えんのわ)

自分の想いを大切にしながらも、自分たちのことを知り、世間のことを知り、アイディアを絞り込んでいきましょう。



発行 塩尻市市民交流センター 交流支援課

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350 (内線4221)

E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp <http://enpark.info/>

編集 特定非営利活動法人 えんのわ

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320

E-mail:ennowa@hotmail.co.jp <http://ennowa.naganoblog.jp/>

本誌に関する

お問合せ先

子どもが成長するサッカー

フォルスピ スポーツクラブ

「ハロー」と講師の「ミスター」こと、高砂信明さんが子どもたちに声を掛けます。塩尻市立広丘体育館で月に1回行われているイングリッシュサッカー。主催しているのは手塚民幸さんが代表を務めているフォルスピスポーツクラブです。

手塚さんは「サッカーを通じて、子どもたちが多様なコミュニケーションをとれるようになって欲しい」と願い、この活動を始めました。「ライオアーレフト?」高砂さんが子どもたちにバスを出して欲しい方向を問いかけます。子どもたちも英語で答えながら、ボールを受け取り、ゴールをめがけておもいっきりシourkeを打ちます。「サッカーの用語は全て英

語なので、予想以上にしつくりきています」と手塚さん。子どもたちが将来に「英語ができるから」と、海外でプレーする夢をあきらめて欲しくないといつ思いも込めて、昨年7月からイングリッシュサッカーを始めました。講師の高砂さんは、一緒にアンテロープ塩尻で中学生を指導しているコーチ仲間。海外でサッカーをしたいという夢をかなえるために高校を



代表
手塚 民幸さん

普段は石井新聞店で働きながら、当クラブを運営しています

そもそも「フォルスピ」って何？

ドイツ語で「みんなの」を意味する「Volks」、「遊び、ゲーム」を意味する「Spiel」、そして英語の「Spirit」を合わせた造語です。

お気軽にご相談ください

参加希望者は手塚さんまで

TEL : 090-5334-7354

「フリー＝コミュニティスペース」をご活用ください！

「フリー＝コミュニティスペース」は、市民や地域の利益（公益）につながる活動を行っている市民団体のためのスペースです。団体登録することで、スペースを予約し、優先して利用することができます。活動するスペースにお困りの市民活動団体の皆さんには、ぜひご活用ください。

カースクールではなく、純粋にサッカーを楽しむための場所なのです。実際に子どもたちの様子をみると、みんなでボールに群がり、右へ左へと走り回つていて、小学校の休み時間にやつていたサッカーを思い出しました。学年も関係なくみんなが一緒になり、一つのボールを追いかける。それがサッカーの楽しさの原点なのでしょう。また、19時過ぎに練

習が始まる他の多くのサッカーチームとは違い、放課後に開催しているのも特徴の一つです。学校が終わって、夕飯の前に思いつきり体を動かすことで、しつかりとご飯を食べて、充分な睡眠をとることができるようになるのです。子どもたちがサッカーをするだけではなく、子どもたちの成長に目を向けたサッカースクールでした。それを象徴するかのように、子どもたちは会

場に来たらまず宿題をやつていたことも驚きました。

手塚さんも高砂さんも子どもたち一人ひとりの動きを見ていて、できることをとても楽しそうに褒めているのが印象的でした。今は一人で対応することが多いという手塚さん。「子どもたちにサッカーを心から楽しんでほしい」という方がいれば、一緒になつて活動を広げていきたいそうです。

●場所：市民交流センター2階

※予約がない場合、一般利用者に開放する場合があります。
※利用方法などの詳細は、交流支援課にお問い合わせください。

